

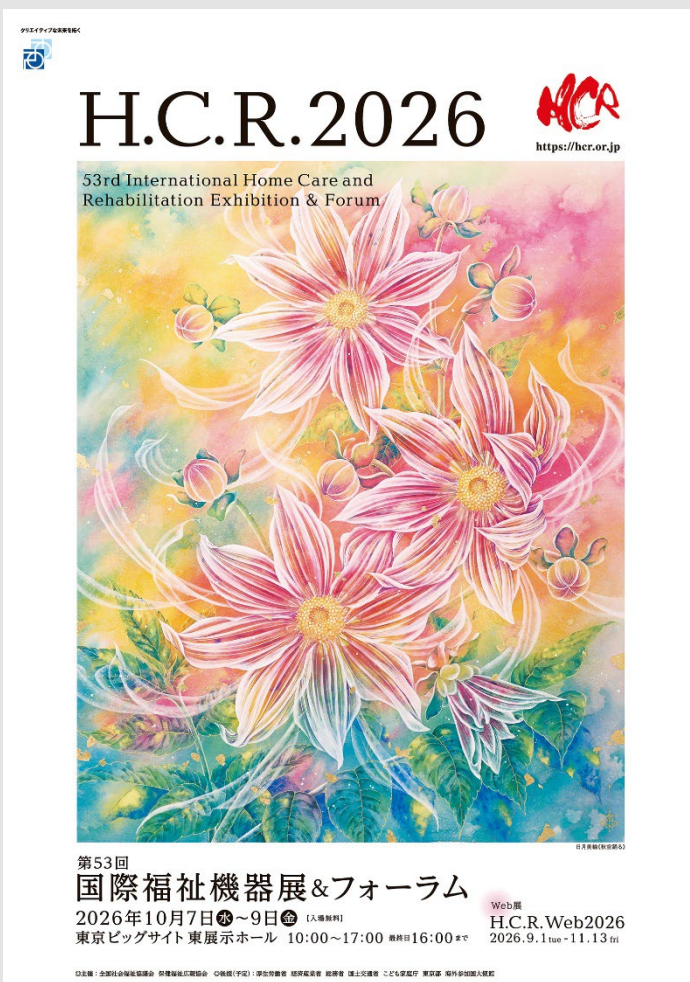
各位

2026年5月15日配信

「H.C.R.2026 第53回国際福祉機器展&フォーラム」 ビジュアルデザインを決定

- 花をモチーフに繊細な日本画を描くアーティスト 日月 美輪（ひづき みわ）氏に、H.C.R.のビジュアルデザインのため作品を制作いただきました。
- 制作いただいた作品はビジュアルデザインとして、ポスターをはじめ来場者にお配りするリーフレットやWebサイト等に用い、展示会場内も鮮やかに飾っていきます。

- 一般財団法人保健福祉広報協会(以下、本会)は、「H.C.R.2026 第53回国際福祉機器展&フォーラム」およびWeb展「H.C.R.Web2026」のビジュアルデザインを決定し、公開しました。
- 今回制作された作品は秋に開花期を迎えるダリヤをモチーフに「秋空踊る」とタイトルが付けられました。10月7日に始まるH.C.R.の期待感を高めるとともに、繊細ながらも大胆に描かれた花には、華やかさとともに人の生命力のような力強さを感じられます。”クリエイティブな未来を拓く”をテーマに掲げる本展示会をイメージできるポスターとなりました。



作品名

秋空踊る

作者

日月 美輪

MIWA HIDUKI

— 作者より —

福祉をどこか遠いことのように感じていた私の転機は、車いすの友人と雨の日に会った時のこと。雨合羽姿の彼を見てはじめて、両手で車輪を操る彼は傘をさせないことを知ったのでした。段差や坂道で力になりたいと思っても、車いすの操作に不慣れな私は全くうまく出来ず、自分の無力さを知るばかりでした。

その時、私は自分が福祉を知らずにいられる環境にいただけだったのだと気づかされました。すぐ隣にある困難を見ていなかったのです。あの日以来、人の想いと技術が寄り添い、誰もがより良く暮らせる環境づくりの大切さを痛感しています。全ての人自分らしく、心地よく過ごせる未来を心から願っています。

《秋空踊る》は皇帝ダリアの花をモチーフに、明るい気持ちで空を見上げたいなという気持ちで描かせていただいた作品です。



作者

日月 美輪(ひづき みわ) 氏

1989年 大阪府岸和田市生まれ

2014年 京都嵯峨芸術大学(現嵯峨美術大学) 大学院
芸術研究科 造形絵画分野 修了

四季折々の花を描く日本画家。

光を纏い、煌めくような独自の表現に加え、截金や盛り上げ胡粉を用いた装飾的な画面作りが特徴。

国内では大阪、東京を中心に個展やグループ展で作品を多数発表し、寺社への作品奉納も行う。また海外にも活動の場を広げ、台湾をはじめとしたアジア・ヨーロッパ・UAE等多数のアートフェアへも出展するなど精力的な活動を行っている。

YouTube や Instagram 等の SNS では、日本画の技法解説や作品制作風景を積極的に発信し、日本画の魅力を広く伝える活動にも力を入れている。

H.C.R.2026 第53回国際福祉機器展&フォーラム 開催概要

主催：全国社会福祉協議会、保健福祉広報協会

後援(予定)：厚生労働省、経済産業省、総務省、国土交通省、こども家庭庁、東京都、海外参加国大使館

会期：2026年10月7日(水)・8日(木)・9日(金)

会場：東京ビッグサイト 東1・2・3・7・8 展示ホール

<Web展>H.C.R.Web2026

会期：2026年9月1日(火)～11月13日(金) H.C.R.Web2026 特設サイトにて実施！